

学校給食における食物アレルギーへの対応について (食の安全安心推進協議会・25.7.19)

○ 学校給食における食物アレルギーに関する調査結果【平成24年5月現在・県教育委員会調査】

区分	給食対象者		給食においてアレルギー対応が必要な児童生徒			調理施設(学校)で何らかの対応をしている児童生徒		
	校	人(A)	校	人(B)	% (B/A)	校	人(C)	% (C/B)
小学校	980	420,793	906	9,011	2.1%	737	3,476	38.6%
中学校	414	208,734	388	6,603	3.2%	302	1,118	16.9%
計	1,394	629,527	1,294	15,614	2.5%	1,039	4,594	29.4%

○ 学校給食における食物アレルギー対応の手引き【平成22年3月・県教育委員会発行】

<内容>

- ・ 食物アレルギーの基礎知識
- ・ 食物アレルギーをもつ児童生徒の把握とその対応
- ・ アレルギー物質を含む加工食品の表示制度
- ・ 給食調理での対応

<特徴>

- ・ あいち小児保健医療総合センター 伊藤浩明先生の監修のもと作成した。
- ・ 平成20年3月の財団法人日本学校保健会が文部科学省監修のもと発行した「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」に準拠した内容とした。
- ・ 学校給食の提供に関する問題と、誤食事故の防止及び緊急対応に関する事柄を記載した。
- ・ 食物アレルギー対応給食を求める申請に対しては、組織的な審査に基づいた決定と、児童生徒及び保護者に対する教育的配慮についても書き込んだ。
- ・ 全年齢において頻度の高い食物アレルゲンであり学校給食の使用回数の多い、卵と牛乳の除去又は代替食対応を当面の目標とした。重症者の多いそばとピーナッツに関しては、十分に配慮した対応を目指すこととした。
- ・ 学校や給食調理場に対しては、すぐ活用できるように、様式集と先進的事例等を載せた資料集を併せて配布した。

○ 学校給食における食物アレルギー対応に関する調査研究【平成25年度文部科学省新規事業】

12,248千円

児童生徒の食物アレルギー疾患の実態や食物アレルギーに対応した学校給食の体制等の取組状況を調査するとともに、有識者による検討会議において学校給食における食物アレルギー対応に関する課題等について検討を行い、対応の充実を図る。

【民間団体へ委託】

○ エピペンとは（ファイザー（株）のホームページから抜粋）

エピペンは、アナフィラキシーがあらわれたときに使用し、医師の治療を受けるまでの間、症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤（アドレナリン自己注射薬）です。

あくまでも補助治療剤なので、アナフィラキシーを根本的に治療するものではありません。エピペン注射後は直ちに医師による診療を受ける必要があります。

エピペンには、体重に応じた2種類（注射液0.3mg→体重30kg以上の方用、注射液0.15mg→体重15kg以上30kg未満の方用）の剤形があります。

製品には、エピペン注射液、携帯用ケース、練習用トレーナー、添付文書、使用情報、「有効期限切れ等お知らせプログラム」登録ハガキ、連絡先シールが含まれています。

学校給食における食物アレルギー対応に関する調査研究

25年度予定額 12,248千円

食物アレルギーとは

- 食物アレルギーは、特定の食物を食べたときに、体を守る免疫システムが過敏に働き、アレルギー症状が起きること。
- 最も多い症状は皮膚症状だが、ショック症状(**アナフィラキシーショック**)を起こす場合もある。
- アレルギーを起こしやすい食物は、鶏卵、乳製品、小麦など。

アナフィラキシーショック

じんま疹や腹痛だけなど一つの臓器にとどまらず、皮膚、呼吸器、消化器、循環器、神経など複数の臓器に症状があらわれ、血圧低下や意識障害などのショック症状を伴う状態

学校給食での対応

Level1 詳細な献立表

Level2 弁当対応

Level3 除去食

Level4 代替食



食物アレルギー疾患の実態及び学校における取組状況の把握

○学校のアレルギー疾患に対する取組ガイドラインの活用状況

○食物アレルギー疾患児童生徒数

○アナフィラキシーへの対応

○学校給食施設の整備状況及び食物アレルギーに対応した学校給食の体制状況

調査結果を活用した普及啓発

食物アレルギー疾患に対する対応の充実

- ・教職員、校長及び教育委員会の指導主事等に対するアレルギー疾患に対する理解の促進
- ・教職員等同士の情報交換、交流によるアレルギー疾患に対する対応の方法、内容の充実
- ・学校におけるアレルギー疾患に対する理解促進、保護者との連携協力の推進